ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.200

発　行　日　　令和４年９月16日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,644名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

16年間の会長当時を振り返って

公益社団法人　新潟県理学療法士会
地域活動推進委員長（元会長）　**深　川　新　市**

（公社）新潟県理学療法士会の創立50周年をお祝い申し上げます。

昭和46年に産声を上げてから半世紀が経ちました。私も今年で49年目になります。入会当時、長野、山梨、東京に短期研修に出かけ、たくさんの先輩にお世話になりました。今振り返ると懐かしい思い出です。

私が会長当時目標としていたのは、県士会の社会的認知を高めることでした。医療関係団体と言えば医師会と、薬剤師会、看護協会で、理学療法士会は法人となった後も、しばらくは団体名簿に載りませんでした。そこで、医師会を初め看護協会や医療専門職団体との交流を深め、県庁の福祉保健部や市長会、町村会、社会福祉協議会などに度々訪問して活動内容を紹介させていただきました。また創立30周年記念式典に合わせ、知事表彰を申請し受賞をいただきました。

印象に残る出来事として、中越地震、中越沖地震は本当に驚きました。急遽理事会を招集しましたが成立せず、そんな中でも避難所への物品の寄付やサポート派遣を決めました。３年にわたって各地の避難所に伺いました。

協会の奈良勲会長から新潟での学術大会の開催を頼まれていました。準備を始めたときに競争相手がおり、県知事に推薦状をお願いしに秘書課に伺いました。同期入庁の職員によりスムーズに推薦状を頂くことができ、第42回日本理学療法学術大会の開催を勝ち取ることができました。

厚生連長岡中央総合病院や晴稜リハビリ学院に長きにわたって事務局をお願いしてきました。県士会の発展には自前の事務所が必須であると判断し、平成21年に現在の事務所を購入しました。

業務量の増加と複雑化に伴い財務処理が難しくなり、平成22年に「さくら会計」と財務処理指導契約をむすびました。公益法人に移行するために、１年かけて申請書作りをしました。何度も書き直した当時が思い出されます。社団法人の認可のときのように、県庁に再三ご相談に伺うことはありませんでした。

日進月歩の医療には自身の研鑽が必須だと思います。私たちには最新の知識、技術を提供する義務が課せられています。これからの人口減少時代が、報われない時代になるかもしれません。「先んずれば人を制す」と言われます。職業として生き残れるような技術力と組織力が必要になると思います。

会長当時を共に支えていただいた理事、役員の皆様、ご支援、ご協力をいただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

目　　次

16年間の会長当時を振り返って…… 1
リレーエッセイ…… 2
養成校紹介…… 3
就業支援部主催会員交流会　開催のお知らせ … 7
2022年度第１回拡大理事会議事録…… 7
2022年度第２回（総会前）理事会議事録…… 10
2022年度社員総会議事録…… 11
学術局生涯学習部だより…… 12
事務局ニュース…… 16
編集後記…… 18

リレーエッセイ 1

「私の好きな読書」

新潟県立燕労災病院　**今　井　涼　太**

小説にはホラーやミステリー、SFなど、ジャンルは多岐にわたりますが、私は現実的で兎に角リアルな生活を描いたものが好みであり、年齢や性別など、身近に感じられる物語であれば更に良いです。小説の内容は勿論ですが、感情表現のうまさに驚いてしまうことがあります。私自身、生活していて感情や気持ちというものを言葉で表そうとした時、表面的な表現になってしまいます。悲しいこと自体は伝えられますが、悲しさの種類や奥行きとかまでは伝えることは難しいと思います。しかし、作家の人たちは、私が抱くモヤモヤとした感情をピタッと文章で伝えられることに鳥肌が立ちます。曖昧で形のない感情を文章で造形をつくって理解させてくれることが、私にとってとてもスッキリして自分の中で消化できます。以上のことが、読書が好きな大きな１つの理由です。

次回は木戸病院の本間一成さんです。よろしくお願いいたします。

リレーエッセイ 2

「ガラスペン」

ながおか医療生活協同組合　生協かんだ診療所　リハビリ・キャンパス　**小野塚　真　子**

ガラスペンという文具を知っていますか？文字通りガラスでできたペンのことです。半年ほど前に長岡市内のある文具店で初めて見た時に、ガラスの綺麗さに惹かれて即購入。魅力はデザインと一本一本書き心地が違うこと、そして手入れのしやすさ。しかも自分の書き方の癖で少しずつペン先が削れて自分が書きやすいペン先になっていくそうです。手入れはコップに水を入れて濯ぐだけ。インクは万年筆用のインクを使います。インクも魅力の一つで、様々な色があり選びごたえがあります。万年筆は他の色を使いたい時にカートリッジの交換など手間がかかりますが、ガラスペンの場合は水で濯ぐだけで他の色が使えるので、気軽に楽しむことができます。

私は、ネットで調べた書きやすい紙とセットで購入して日記を書くのに使っています。その日の気分に合わせて色やペンを選ぶのが楽しいです。デザインを眺めたり新しいインクを使う時のワクワク感が堪りません。ぜひ文具店などで試し書きだけでもしてみてください。鉛筆やボールペンとも違う書き心地が楽しめると思います。

次は長岡西病院の森山真夏さんです。よろしくお願いします。

養成校紹介１

晴陵リハビリテーション学院 理学療法学科

副学科長　**橋　本　尚　幸**

当校は立川綜合病院を中心とした立川メディカルセンターグループの教育機関としてOT科とともに平成７年４月に開校いたしました。場所は長岡市西部の丘陵地帯、縄文時代の火焔土器が多数発掘された地域にあり、とても風光明媚な自然環境にあります。四季折々に動物や虫が多数出現し、プチ動植物園になります。そして、当校の校章でもある桜が学院周辺には多数あり、とても綺麗で多くの方が写真を撮りに来る今風な映えスポットです。是非皆さんも春には桜を見にお越しください。その際はお声掛けいただければコーヒーをお出しします。

当校も今年度28期生の新入生を迎え、卒業生は700名を超えました。教員は現在７名体制、内２名の卒業生が晴陵魂を学生に入魂して学生教育に携わっております。学生教育としては「誠実な人間性と自ら学ぶ姿勢を身につけた療法士」を目標に、１．心：「人財」を作る人間教育、２．学ぶ：知識、技術を実践できる豊富な現場体験、３．育てる：きめ細やかな指導の３つを教育の柱としております。特に、隣接する悠遊健康村病院や悠遊苑、立川綜合病院等のグループ内施設での早期実習にて医療現場で活きる実践を重視しております。

開校して28年目を迎え、学院の老朽化とともに教員の老朽化（私だけです!?）が進み、校舎とともに教員もメンテナンスをしながら日々学生教育に携わっています。最近の学生は・・・等よく耳にしますが、その影響か私自身は年々学生にエネルギーを吸い取られている感じがしております。しかし、体脂肪は吸い取ってはもらえず一向に減りません！これからは脂肪をエネルギーに変え、その時代にあった学生教育を心掛けて行きたいと思います。

最後に、コロナ禍での実習受け入れ、誠に有難うございます。この場をお借りして感謝申し上げます。臨床実習形態も変わり、一人の理学療法士（後輩）を育てるには必ず皆様のお力が必要になります。

今後もご協力の程、宜しくお願い致します。

養成校紹介２

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

学科長　椿　　淳　裕

新潟医療福祉大学は2001年４月に開学しました。理学療法学科は開学当初からある５つの学科の１つで、今年の４月には22期生が入学しました。

大学は新潟市北区、海辺の森キャンプ場に近く、場所によりますが晴れた日には海に沈む夕日を眺めることができます。研修会の会場となることもあり、大学にお越しになったことのある方もいらっしゃることと思います。

2001年に理学療法士養成が始まり、現在は35名の理学療法学科教員で学生教育を行っています。35名がそれぞれに専門領域を持つことから、専門性の高い学生教育を行うことができています。また、専門領域の近い教員がグループを構成し学生指導にあたることができる点も、他の養成校にはない特徴です。2005年には修士課程、2007年には博士後期課程での大学院教育が開始されました。研究者としての考え方や知識、技術を習得する教育研究プログラムのほか、臨床徒手理学療法コース、急性期理学療法コース、リハビリテーション栄養コース（2023年４月開設予定）などの臨床技能を高めながら研究の思考を身につけることのできる高度専門職業人プログラムや、青年海外協力隊等プログラムを大学院修士課程に有することも他の大学にはない特徴です。理学療法学分野には毎年15～20名の進学者がおり、卒業と同時に進学する学生のほかに、新潟県内はもちろんのこと、県外から進学する社会人も多くいらっしゃいます。

自治体からの委託や公益団体と共同して実施する事業により、地域にお住まいの方々の健康維持や増進に繋がる活動も複数継続しています。またこれらを通じた学生教育も行っております。

大学の役割である教育、研究、地域貢献をそれぞれにリンクさせながら進めるとともに、その成果を公表することで、「新潟」と「理学療法」とをアピールしています。

養成校紹介３

看護リハビリ新潟保健医療専門学校

副校長　**笹　川　健　吾**

本校は2006年に開校した３年制の専門学校です。現在、卒業生３名を含む８名の教員で教育に当たっています。開校当初より「新・統合理論」を教育の基盤として、１年次より専門科目・基礎医学を有機的に結びつけて学習するスタイルを取ってきました。これにより１年次に“小さな理学療法士”を育成し、学年を追うごとに知識の関連性を持ちながら大きく育つという構図です。また、“learn how to learn”を掲げ対象者の問題を解決できる理学療法士の輩出を志し、CBL（症例基盤型学習）を多く扱った、いわゆるアクティブ・ラーニングを展開してきました。さらに、実習に関しては2015年からOJTによるクリニカルクラークシップを導入しました。これらの学習方略を導入し、運用する過程において以下の工夫・改善が必要となりました。

① CBL：最新で幅広い情報といつでもアクセスできる学習環境と得た知識を定着させる手段
② アクティブ・ラーニング：いつでもどこでも教材や学び合う仲間とつながる環境
③ クリニカルクラークシップ：それぞれの経験に由来する学びや悩みをリアルタイムに共有できる手段

これらに対しスマホ・タブレット授業、google work space for educationによる学習支援を導入しました。これにより資料・ノートをタブレット上でメモ・板書し、一括収納出来ます。また、スマホでいつでも資料等にアクセスが可能となりました。また、AI学習支援アプリの導入を行い、授業で習得した知識を効率的に定着させることが可能となりました。

学習の効果・効率に対する方略の一方で、医療人としての態度・情緒面の育成に対し、教員による学生への月１回の１on１ミーティング（成長促進個人面談）を行い、意欲の促進・礼儀礼節の最適化を図っています。

養成校の使命は患者さん、利用者さんに貢献できる理学療法士を輩出すること。それを忘れずにこれからも前進したいと思います。今後ともご指導ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。

養成校紹介４

新潟リハビリテーション大学医療学部
リハビリテーション学科理学療法学専攻

専攻長　**星　野　浩　通**

本学は海と山に囲まれた自然環境豊かで景観優美な村上市に位置する大学です。平成７年に新潟リハビリテーション専門学校としてこの地に開学し、平成19年に新潟リハビリテーション大学となりました。開学して27年の歴史を持ち、多くの医療従事者の育成に携わってきました。本学は統合医療を目指した学園づくりを目指し、理学療法士、作業療法士、公認心理師の養成課程と、さらに姉妹校に看護師、鍼灸療法士の養成課程があります。建学の精神「人の心の杖であれ」を礎に、高い倫理観を持ち、生涯学び続け社会と地域の医療福祉に貢献できる人材を育成しております。そして、小規模大学の良さを活かし、学生と教員、さらに地域との交流の場を設けることで、人と人の関係づくりや心の成長を育む教育を行っています。その為、学生は非常に素直で真面目な学生が多く在籍しています。

現在、本学の理学療法学専攻の教員は11名おり、教育に熱意のあるベテランから若手教員が在籍しており、それぞれの専門性に特化した研究活動や講義つくりを行っております。教員同士での交流も多く、様々な意見や、取り組みを反映しやすい専攻となっています。

私たちの専攻では学生が生き生きとした大学生活を送れるように、ゼミ活動や学年クラスをつくり、１年生から４年生までが交流でき、お互いが成長できるような学びの場をつくっています。さらに、村上市との地域連携を行い健康福祉だけでなく、村上市の歴史と伝統行事への参加や、大学院では中国からの留学生の受け入れによる多文化交流にも力を入れています。

最後に、令和４年４月に本学に新たな教育棟が完成しました。国際交流や学生のアクティブラーニングが行える空間になります。この教育棟を有効活用して、これからも社会で活躍できる学生の育成に貢献したいと思います。

就業支援部主催会員交流会　開催のお知らせ

新潟県理学療法士会員は年々増えてきております。会員の年代は幅広く、皆様其々がワークバランスを保ちながら多様な環境下で活躍されています。一方で会員同士の交流は少なく、様々な情報が得られづらくなってきているように思います。そこで今回就業支援部では、下記の交流会を企画致しました。

テーマ「日頃思っていることを話してみよう、聞いてみよう」

普段考えていること、悩んでいること、ストレスに感じていること（仕事でも仕事以外でも）、子育てのこと、ネガティブな内容でもなんでも話してみましょう。これを一つのきっかけに、職場外での理学療法士の交流が“ざっくばらん”に少しでもできればと考えております。当日、気が向いたら覗いてください。参加者の話を聞いているだけでもOKです。なお、研修会ではありませんので、「子供の声」、「じいちゃんの声」など入ってもOKです。コーヒー片手にお菓子を食べながらでもOKです。

日　　時：令和４年10月１日（土）　14時から　１時間（延長なし）の予定

開催方法：Zoom

10分前から入室可能

途中参加、途中退席可能

司会は就業支援部が担当します

入室の際は、お名前を表記して下さい

URL：https://us02web.zoom.us/j/86864657319

ミーティングID：868 6465 7319

パスコード： Syugyou101

申し込み方法：事前申し込み不要

参加費：無料

お問い合わせ：jimukyoku@nipta.or.jp　　件名に「茶話会について」と記載願います。

2022年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第１回拡大理事会議事録

日時：2022年４月17日（日）　10：00～14：40

場所：新潟県理学療法士会事務局およびwebにて実施

参加者：

理事　佐藤成登志、中山裕子、髙鳥真、郷貴大、小林諭、田村友典、松林義人、田中健、立石学、大野智也、棚橋泉、上路拓美、柳保、小川恵一、飯田晋、藤澤明彦、山本典子

ブロック長　荻井夏江、諏訪和彦、松本香好美、高野義隆、本間宏彰

委員長　小野塚智紀、石井康朗、深川新市、五十嵐進

監事　太田智英、堀川武範

１．会長挨拶

２．協議事項

１）各部局から総括事業報告について資料を基に報告。

＜資料補足＞

高年齢労働者の就労支援モデル事業について

中山：協会職能局の事業で高年齢労働者の就労支援についてのモデル事業の申請が通り、事業計画を始めている。高年齢労働者に対して、新潟からは腰痛予防・転倒予防・膝関節痛予防や、介助技術の講習及び、個別対応をしていくとい

う内容で申請。その後、シルバー人材センターや産業保健総合支援センター（産業医への教育や、企業主を集めての講習を実施している機関）講演依頼が来ている。目的は会費以外の収入を得ること。２年程度は協会から予算が付き、その後は、企業と契約して事業化するという形で進める予定。

立石：企業から収入を得た場合に、副業にならないか？

会長：現在実施している県からの委託事業と同様に考えてよい。新潟県理学療法士会が契約して、会員に県士会から依頼する、という形になる。

深川：県士会が、企業との契約で公益事業をするのは問題ないが、各職場がその事業にスタッフを出してくれるかどうかはまた別の問題。

事務局強化について

郷：事務員の時給アップ、勤務日数増となる。勤務日が増えると社会保険について検討しなければならない。社会保険加入の必要性がでたら、理事会で相談させてほしい。

４月からさくら会計の顧問社労士の方に相談させていただいている。

県士会のロゴ商標登録について

松林：商標登録が完了して、登録証が届いた。（登録日３月24日）35類（ネット等での使用）のみ。16類（印刷物での使用）についても申請しているので確認したい。

「NiPTA」の文字は、先に「NIPTA」を登録しているところがあるので登録できなかった。

ピンバッジと旗の作成を検討。旗は、50周年記念式典、総会に間に合うか検討。

会長：マークの意味について、説明できるように確認して、広報した方が良い。

復職者の研修受け入れに対する感染対策について

上路：復職者の研修受け入れに関して、感染対策をどうしたらよいか？

会長：いろいろなケースがあると思う。各施設の事情に合わせるしかないと思う。

診療報酬の情報について

会長：情報に詳しい会員に協力していただき、会員向けの動画を作ることを検討したらどうか。（今後検討事項）

新潟市シティマラソンへの車いすの方の参加要望について

飯田・中山：新潟市長への訪問および要望書の提出に関して多くのメディアに広く取り上げられた。協会にも報告したい。

関東ブロ学会の収支について

小林：開催形態が変更になり、資料の通りに赤字になったが、関東甲信越ブロック協議会から赤字分の補填があった。

資料以外でその他の報告

郷：50周年記念誌を順次発送している。記念式典は追って報告する。

２）財務部から決算報告書（年度会計、関ブロ会計）の資料を基に決算報告あり

公益社団法人としてクリアすべき財務の三原則について

小林：①公益目的事業の収益に対して、費用の方が上回っているので問題なし

②事業比率について76.7％であり、50％以上をクリアしているので問題なし

③遊休財産の保有限度額が規定内の額に収まっているため問題なし

関ブロの会計に関して

堀川：関ブロ学会は積立金にて運用しているため、年度内の予算には金額が含まれないが、決算には金額をいれないといけないので、予算額と決算額が乖離してしまっている。関ブロの会計は収支比が少ないので、総合的にみて、収支比などは問題ない。

小林：関ブロのような大きな事業をすることで、公益事業に使われる金額が多くなり、遊休財産の保有限度額や公益目的事業費率にゆとりのある運用ができた。　⇒以上理事会承認

３）生涯学習部からの提案

勉強会支援申請について

髙鳥：新潟県小児リハビリテーション情報交換会勉強会より、会則、計画が提出

⇒理事会で支援を承認

Zoom契約の見直しについて

髙鳥：ビジネスプランで10アカウントIDの契約が可能。一つの参加人数300人まで。

小林：法人のクレジットは２枚作成予定。問題なければそのカードで契約。

田中：アカウントが増えるとよい。各病院での勉強会がやりやすい。ブロック長に割り振っていただくと、研修会が開催しやすい。

髙鳥：管理の方法とルールを決めなくてはいけないが、やりながら検討したい。

小林：今年度の契約になると、予備費から費用の捻出が可能。

堀川：クレジットカードの使用方法については財務規定に従い、使用のルールをしっかり決める

必要あり。　　⇒理事会承認、契約実施

３．監査報告

堀川監事より会計監査報告あり

講師謝金の振り込みに対して、個人の口座を介さないよう注意が必要。法人名での現金振込をお願いしたい。

旅費交通費の支払い根拠が不明確な事例あり。議事録に出席者と活動時間を正確に記載していただきたい。

書類の送付に関しては、レターパックや切手を事前に購入して置いて、使って差し支えない。

太田監事より関ブロ学会会計監査報告あり

令和２年の準備委員会の開始から関ブロ終了までの監査を実施した。

全体的に概ね適切に運営されていた。

⇒以上理事会承認

４．その他報告事項

新生涯学習システムについて

田中：生涯学習制度が変わる。2021年度の参加者が少なかったため、各職場でも案内してほしい。

本間：佐渡での臨床実習指導者講習会については、受講者が少ないことが予測される。

髙鳥：10人程度集まれば実施したい。場合によってはリモート開催も検討。

小川かつみ氏ミニ集会について

本間：佐渡ブロックのみでは少人数。新潟東ブロックに便乗させていただきたい。

小川：他ブロックの日程や状態をみて、決めたい。日程の決まったところは参加をお願いしたい。

2022年度総会について

藤澤：以下のように実施する。

日程：６月19日（日）　総会終了後12：15～
１時間半程度

会場：新潟ユニゾンプラザ

総会前理事会：６月16日（木）19：00～
リモートにて開催予定

新入会員へのインフォメーションについて

会長：ここ数年新入会員が減っている。新入会の方々へのインフォメーションの形を見直したい。他士会では動画等でアピールしているところもある。

郷：入会自体をしてない場合と、入会の手続き後、入金の手続きをしなくて流れてしまう場合がある。書面文書・FAX・ホームページなどの方法で会員がいる施設にアナウンスする。

日本車いすダンススポーツ連盟　新潟県支部より活動への協力について

飯田：県士会員に対して活動の周知および参加協力の要望がありました。今後、県士会HPを用いて広報を行う予定。

会員の異動情報のゆきわり草への掲載について

郷：具体的な個人情報は掲載せずに、異動の人数のみにしてよいか？

協会からは、２項目以上の情報は個人情報になる、と指導を受けている。

会長：士会活動で必要なブロック長などには情報を共有することにして、ゆきわり草には載せないこととする。

50周年記念式典について

郷：６月18日　ANAクラウンプラザホテルにて実施する予定。（式典14：00、祝賀会15：00）

飲食はなしで実施する予定。県内・外の出席者あり。後日理事の出席を確認する。

堀川：50周年記念式典・祝賀会の費用は、会計上は「管理費」になる。

事業費とのバランスについて、さくら会計と相談してもらいたい。

県の肢体不自由児協会について

会長：肢体不自由児協会と、障がい児・者支援委員会の活動について、接点はあるか？

石井：明確ではないので、どのように予算がついているのか等、調べてみる。

中山：特別支援学校の生徒と保護者の会のようである。

五十嵐：スポーツ活動などとのつながりなど、もっと広がるといいと思う。

組織運営協議会について

会長：協会組織の理事の在り方を検討している。士会代表理事（士会長）、一般理事（全国から７名）を加えて組織することになる予定。

松林理事の異動について

会長：松林理事、今年度で三重県に転居されるが、もう１年理事の任期が残っている。

今年度は新潟県理学療法士会の会員としてリモートを中心に活動していただく。

松林：諸事情で４月25日に三重に拠点を移すが、今年度は現職に席を置いてリモートで活動する。対面の業務は部員に任せるが、オンラインで引き続きやらせていただく。

災害の積み立てについて

堀川：災害が実際起きた時のために、どのくらい積み立てたらよいのか？

シミュレーションに基づいた具体的な予算立てが必要。

小野塚：県外の災害派遣は概算、県内の災害発生時に関しては、予測は難しい。
できる範囲でシミュレーションしてみる。

会長　佐藤成登志
監事　太田　智英
堀川　武範
以上

2022年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第２回（総会前）理事会議事録

日時：2022年６月16日（木）　19：00～21：00
場所：新潟県理学療法士会事務局およびwebにて実施
参加者：
理事　佐藤成登志、中山裕子、髙鳥真、郷貴大、小林諭、田村友典、松林義人、田中健、立石学、大野智也、棚橋泉、上路拓実、柳保、小川恵一、飯田晋、藤澤明彦、山本典子
委員長　深川新市、五十嵐進
監事　太田智英、堀川武範

１．会長挨拶
２．協議事項
１）総会について
藤澤総務部長より総会の進行、役割等について説明、各理事より不明確な点について確認あり。（集合時間、当日の動き、役割等）

当日役割：
総会議長　高林　知也　氏（新潟医療福祉大学）
副議長　中俣　和弘　氏（南魚沼市立ゆきぐに大和病院）
書記　坂田　秀平　氏　（上越総合病院）
久保田　悦章　氏（上越地域医療センター病院）
議事録署名人　浜辺　政晴　氏（総合リハビリテーションセンターみどり病院）
近藤　公則　氏（悠遊健康村病院）
⇒事前打ち合わせに関して、連絡を入れておく。

定足数・議決に関して：
現状で、総会開催には問題なく達している。
当日採決に関しては、理事も正会員であることから、採決数に加えてよい。
理事に関しては事前に理事会にて承認をしているため、「賛成数」として加える。

役員の総会参加について：
例年理事は参加しているが、委員長・ブロック長の参加は不明確だった。
次回（来年度総会）からは、委員長・ブロック長にも参加してもらえるよう、事前に連絡する。
また、旅費等に関しても支給するむね、事前に連絡する。

２）分科会研修に関して
現在３件の応募がある。
循環器領域（魚沼基幹病院　今井氏）、糖尿病領域（新潟リハビリテーション大学　木村氏）、運動器領域（新潟医療福祉大学　神田氏）
申請内容等詳細は、後日メーリングリストで流し、問題なければ承認したい。
⇒以上、理事会承認

３．報告事項
１）商標登録に関して
松林：６月10日登録完了の報告。広報関係に関する印刷物と、インターネット・雑誌広告に載せる広報物の２種類の商標登録を申請。
登録できたのは、新潟県理学療法士会の文字と、ロゴマーク（NiPTAを除いた部分）

２）第２回の新潟県リハビリテーション専門職学術大会に関して
髙鳥：12月10日～11日に開催、演題募集が始まっているため、周知をお願いしたい。

３）新潟県理学療法士連盟
小川：７月10日の参議院選挙にむけての、期日前投票の徹底などへの呼びかけ、また、自由民主党新潟支部への登録の促進をお願いしたい。

４．その他
１）50周年記念式典・祝賀会の開催に関して
郷実行委員長より、式典・祝賀会の概要、集合時間等説明。

２）活動に関する旅費等に関して

県士会として参加を要請した方についての旅費等は、支給していくこととする。

また、ガソリン代の高騰に伴い、基準を150円／ℓ　⇒170円／ℓ　とする。

⇒理事会承認

次回の理事会の予定

第３回以降の日程については、後日調整

2022年６月16日

会長　佐藤成登志

監事　太田　智英

堀川　武範

以上

2022年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
社員総会議事録

１．総会の種類　2022年度定時総会

１．開催場所　新潟ユニゾンプラザ多目的ホール

１．開催日時　2022年６月19日（日）

12：20 ～ 13：40

１．総社員数　1,619名

出席した社員数　1,026名

内訳　本人出席　111名

委任状出席　915名

１．議長団選任の経過

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の定時総会は定款第19条に定める定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長および副議長の選任方法を諮ったところ満場一致をもって，それぞれ高林知也氏、中俣和広氏が選任された。議長は、本会の書記および議事録署名人を誰にするのかにつき議場にこれを諮ったところ議長指名としたので議長は書記に坂田秀平氏、久保田悦章氏、議事録署名人を近藤公則氏、浜辺政晴氏を指名し、満場これを承諾した。その後議案の審議に入った。

１．議事の経過要領及び議案決議の結果

１．第１号議案　2021年度　総括事業報告・決算・監査報告に承認を求める件について

会長佐藤氏より本件に関わる説明がなされ、副会長中山氏、学術局長髙鳥氏より2021年度総括事業報告がなされ、その後財務部長小林氏より2021年度決算報告、監事の太田氏より監査報告の説明がなされた。

議長は議場にこれを諮った処、下記の質疑応答の後、満場一致の賛成をもって議決された。

質疑１．山田氏より

昨年度は会費が1,000円減額されていたが、今年度、元に戻した理由は何か。

応答１．会長 佐藤氏より

昨年度は、コロナの影響で予定した事業が出来なかったため、会費を1,000円減らした。今年度は予定通り事業を行っていくため、金額を元に戻すこととした。

質疑１．山田氏より

メルマガの登録をしたが､配信が少ない。また、まったく受信できない会員もいるがどうなっているか。

応答１．広報部長 松林氏より

システム障害について以前から問い合わせがあり、迷惑をおかけしている。システムを管理している会社と相談しているが、解決策が見つかってない。メルマガだけでなく、ホームページでも確認して欲しい。

質疑１．山田氏より

通所C型事業という用語が出てくるが、具体的にはどんな事業か。

応答１．副会長 中山氏より

通所C型事業とは３か月程度週一回２時間程度の運動を提供するサービス。新潟県では推進していきたい。市町村ごとにアドバイザーを派遣し推進していく予定。来年度から本格的に始動していきたい。

１．第２号議案　その他

審議事項提案なし

報告事項

１．2022年度　事業総括計画・予算について会長佐藤氏、副会長中山氏より本件に関わる説明がなされ、財務部長小林氏より予算について説明がなされた。

質疑１．山田氏より

国際部の設置に関して、必要性、方向性を教え

てほしい。

応答１．会長 佐藤氏より

提案当初は、若い理学療法士たちが、海外研修などに出ていきやすいようにしていきたいと考えていた。また、近年現場では外国人の入院患者が増えているため、言葉の壁がある。本士会でどれほどの必要性があるのかを今後も検討していきたい。

以上をもって2022年度定時総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し13時40分散会した。

上記の決議を明確にするため、議事録署名人において次に記名押印する。

2022年６月19日

公益社団法人　新潟県理学療法士会
2022年度定時総会において
議長　高林 知也
議事録署名人　近藤 公則
浜辺 政晴

学術局生涯学習部だより

学術局長　**髙　鳥　　真**
生涯学習部部長　**田　中　　健**

会員の皆様には平素より当士会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、依然、多くの方が大きなリスクを抱えながら日々の業務にあたられていることと存じます。どうぞ、くれぐれもお身体にご留意ください。

■　新生涯学習制度について

生涯学習制度の概要

生涯学習制度の３つのポイント

1．日本理学療法士協会（新潟県士会）へ入会した理学療法士は、まず「前期研修」を履修します。その次に「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」となります。
2．「登録理学療法士」となった本会会員は、５年ごとの更新を目安に自己研鑽を続けます。
3．登録理学療法士を基盤とし、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」、「専門理学療法士」制度を構築します。

詳しくは、協会ホームページをご確認ください　>>>
https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/

■　令和４年度学術大会・研修会予定

第２回新潟県リハビリテーション専門職学術大会　開催趣旨

新潟県リハビリテーション専門職協議会は、平成27年に（公社）新潟県理学療法士会、（公社）新潟県作業療法士会、（一社）新潟県言語聴覚士会が合議し、協議会を設立いたしました。新潟県における地域共生社会に向けた県民の健康促進、介護予防や健康寿命延伸に向けた取り組みを行っております。活動の中で、それぞれの専門職団体として相互の連携促進・知識・技術の研鑽等を目的に、令和元年に第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会を開催、３年に一度合同学術学会（以下、学会）を行う運びとなりました。これは全国的に見ても珍しく、リハビリテーション専門職が三位一体となり、健康立県の一翼を担う事業としては最大の活動となります。

この度の学会において通常の演題発表やセミナー加え、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2021年度グッドデザイン賞を受賞、株式会社オリィ研究所所長で分身ロボット「OriHime」開発者である、吉藤オリィ氏をお招きし、一般市民公開講座として特別講演を企画致しました。分身ロボット「OriHime」は、神経難病や進行性疾患による重度寝たきりの方々でも、ご自身が分身ロボットを操作することで、働いたり、外出したり、旅行に出掛けることを実現しました。吉藤氏は「例え寝たきりになっても会いたい人と会えて、仲間と共に働き、自分らしく生きられる社会」を作るべく、現在も研究・開発されております。

新潟県における高齢化率は加速の一途をたどっております。そのような状況下において、人との繋がり、社会との繋がりを感じ、誰かの役に立ち、自分の居場所を感じられることは、障がいの有無や年齢に関わらず、生きる人間にとって持ち続けたい心です。あらゆる人の社会参加を可能とする取り組み、共生社会に向けた新たな生き方・働き方をご講演いただき、他の企画と併せて皆様と一緒に考える・学ぶことができる機会になれば良いと思っております。

大会長　四方秀人（新潟県作業療法士会会長）

1．日　程：令和４年12月10日（土）・12月11日（日）
2．会　場：朱鷺メッセ　新潟コンベンションセンター
3．学術大会テーマ：「地域共生社会に向けた協働と挑戦」
4．理学療法士会準備委員
　大野智也（押木内科神経内科医院リハビリテーション科）
　本間大介（新潟万代病院）
　大和隆紀（五泉中央病院）
　多田葉月（ウエルネス中条デイサービスセンター）

2022年度新潟県理学療法士会主催研修会　予定

	研修会	テーマ/講師	日程	会場
10月	超音波画像研修会	「理学療法における筋骨格系の超音波画像評価（初級編）」講師：中村雅俊 先生（西九州大学リハビリテーション学部）・中村絵美 先生（順天堂大学保健医療学部）	10月16日（日）	Webオンラインのみ
	理学療法士講習会	「介護予防としてのロコモ対策，フレイル対策の実際 ～地域包括ケア活動マニュアルの活用～」（仮） 講師：小林量作 先生（新潟リハビリテーション大学）／金子功一 先生（生協かんだ診療所）／高野義隆 先生（新潟リハビリテーション病院）	10月29日・30日 二日間開催	新潟市内
11月	県士会主催研修会	「糖尿病に対する理学療法の基礎と実践」 講師：木村和樹 先生（新潟リハビリテーション大学）／他	11月5日（土）	新潟ユニゾンプラザ・Webオンライン ハイブリッド開催
12月	腰痛症に対する理学療法	「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」 講師：神田　賢 先生（新潟医療福祉大学）／佐藤成登志 先生（新潟医療福祉大学）／北村拓也 先生（新潟リハビリテーション大学）	12月3日・4日 二日間開催	新潟医療福祉大学 対面のみ
	第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会	新潟県理学療法士会・新潟県作業療法士会・新潟県言語聴覚士会合同学術大会 テーマ：「地域共生社会に向けた協働と挑戦」 大会長：四方秀人（新潟県作業療法士会会長）	12月10日・11日 二日間開催	朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
	循環器疾患に対する理学療法	しばらくお待ちください	未定	未定

2022年度臨床実習指導者講習会

	主催	会場	日程	定員
臨床実習指導者都道府県講習会 各校教員　理事　他	看護リハビリ新潟保健医療専門学校	Web	5月7・8日	100
	新潟医療福祉大学	同　校	9月17・18日	100
	~~県士会学術局~~	~~佐渡市内~~	~~10月8・9日~~	中止
	晴陵リハビリテーション学院	同　校	11月19・20日	80
	県士会学術局	Web	12月17・18日	100
	新潟リハビリテーション大学	同　校	2023年３月	50

2022年度県士会主催以外　予定

11月	第9回日本小児理学療法学会学術大会	「今、小児理学療法に問われるもの～我々は、何をすべきか～」 大会長　中林美代子（新潟県はまぐみ小児療育センター） 準備委員長　剱物　充（新潟市民病院） **参加登録：受付中～ 10月21日**	11月12日·13日 二日間開催	オンライン開催

■　新型コロナウイルス等の感染予防・感染拡大防止への対応について

当士会主催の研修会実施に際して、新型コロナウイルスなどに対する感染症予防および感染拡大防止の対策として以下のように対応していきます。

＜当士会の対策＞

研修会に関わるスタッフは、日常における体調管理を徹底し、検温、手洗い、うがい、マスク着用等の感染予防を励行し、研修会開催前の行動歴を確認した上で対応をいたします。

＜参加者へのお願い＞

- 発熱、咳などの症状がある場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします
- 参加の際は、マスクの着用をお願いいたします
- 受付時に体温を計測させていただき、37.5℃以上の方は参加をお断りさせていただく場合がございます
- 手洗いや備え付けの消毒液のご使用をお願いいたします
- 研修会時のソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします
- 受講中に体調の変化が認められた場合は、無理をせずに早めにスタッフへお申し出ください

●今後の社会情勢によっては、研修会を中止させていただく場合もございます。開催の有無につきましては、新潟県理学療法士会ホームページ等でお知らせいたしますのでご確認ください

■　県士会主催WEB研修会への参加方法について（Zoomシステム利用の場合）

●パソコンもしくはスマートフォンに、Zoomのアプリをインストール（無料）し、登録を済ませてください
●Zoomの使用につきましては、各個人での責任でお願いいたします。接続中は多くの通信量（およそ90分で0.5GB）が必要です。Wifi環境をご確認の上ご利用ください。研修会にかかる通信料金については、県士会は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください
●お申し込み後、申し込み時のメールアドレスへ参加に必要なURL、ID、パスコードをお知らせします。研修会によってはZoomミーティングの事前登録をお願いする場合がございます。
●研修会開催日3日前になっても参加に必要なURL、ID、パスコードが届かいない場合は、各研修会の問い合わせ先へご連絡下さい
●研修会によってはZoomミーティングへの入室方法が異なる場合がございます。各研修会案内をご確認ください
●研修会時に出欠確認を行う場合があります。県士会主催の研修会へ参加の際は、**名前を「会員番号_氏名（フルネーム）」でご登録**ください
●Zoom画面の録画や録音、撮影は一切行わないようにお願いします
●不正行為が確認された場合は、受講を認めずポイント付与にならない場合があります
※メールアドレスの入力不備により参加できない事案が多く発生しております。登録の際はご注意ください

☆研修会ポイント認定について
遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて
ご注意ください！　研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。
原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金はできません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。
お申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。 ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

※研修会が天候等の事情でやむを得ず中止・延期となる場合は、メールにてご連絡をいたします。協会に登録してある連絡先メールアドレスに送信いたしますので、メールアドレスの登録及び受信可能なアドレスであることを確認して下さい。また、県士会ホームページに情報掲載を行いますので、必ずご確認下さい。

○研修会DVDの貸出しについて
木戸病院　　江川　真司　　E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○新生涯学習制度関連のお問い合わせ
桑名病院　　田中　　健　　E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ
新潟リハビリテーション病院　　立石　　学
E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

事務局ニュース

1　会員の動き「2022年5月～7月集計」

【新入会】・56件
【県内異動】・77件
【転　入】・20件
【転　出】・７件
【休　会】・４件
【復　会】・２件
【退　会】・１件
【育児休暇割引】・２件
【施設名称変更】・０件
【施設住所変更】・２件

・新潟市中央市役所　中央区学校町通１－602－１
　→中央区西堀通６番町866番地NEXT21　３階
・特別養護老人ホームおもと園　中央区鳥屋野４丁目17番５号
　→新潟市中央区女池西２丁目６番25号

2　他士会関係

①ニュース（他県士会）

京 都 府　No.289
熊 本 県　第139号
長 野 県　No.79
北 海 道　No.231
千 葉 県　第222号
大 阪 府　第291号 292号
和歌山県　No.96
秋 田 県　第204号 第205号
兵 庫 県　No.195
静 岡 県　No.192　No.193　特別号
茨 城 県　No.176
神奈川県　No.291　No.292
広 島 県　No.269　No.270
愛 知 県　No.205　No.206

②学術誌・学会誌

理学療法湖都（公益社団法人滋賀県理学療法士会）
理学療法京都NO.51，2022
理学療法の臨床と研究第31巻（公益社団法人広島県理学療法士会）
秋田理学療法第29巻
第73回北海道理学療法士学術大会プログラム集
第25回静岡県理学療法士学会誌－静岡理学療法ジャーナル－第43号
理学療法－臨床・研究・教育　第29号（公益社団法人埼玉県理学療法士会）
総合理学療法学　第2巻（一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター）
愛知理学療法白書　あいち2021
理学療法いばらき第26巻

③その他

令和３年度在宅医療（栄養）推進事業報告書（公益社団法人新潟県栄養士会）
介護保険における福祉用具の利用安全を推進する為の調査研究事業　報告書（一般社団法人日本福祉用具供給協会）
新潟県立大学地域連携センターニュースVol.5
響希Vol.13（一般社団法人新潟県会議支援専門員協会）
令和３年度新潟県フレイル克服プロジェクト事業実地報告書（公益社団法人新潟県健康づくり財団）
JPTANEWS Vol.336　Vol.337
NO Limit　vol.89　Vol.90
陽光NO.32（新潟県健康づくり財団）

3　異動･休会･復会･退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きができません。納入確認後にお手続きをお願いします。※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL:03-6804-1421へお問合せください。

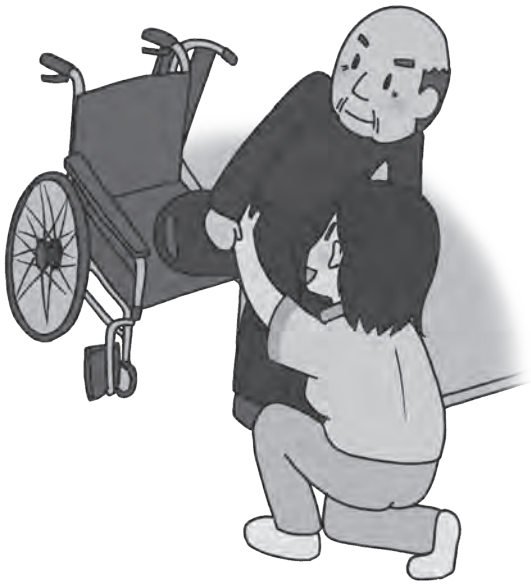
＜自宅会員へのお願い＞

現在、施設に所属していて自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページより変更手続きをお願い致します。

［問い合わせ］

〒950-0912　新潟市中央区南笹口１丁目１番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人　新潟県理学療法士会　事務局　宛
TEL：025－250－7660　FAX：025－250－7661
（電話対応は月曜～金曜の９：00～16：00）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp



各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025)223-3630
FAX (025)222-2750

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園２-２-19
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http：//www.hi-college.ac.jp

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL(025)381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで https://www.takayoshi.co.jp

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。
㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL：(025)281-0303
FAX：(025)281-0339
田村義肢 検索

リハノメ PT・OT・STのための総合オンラインセミナー
年間200本以上配信！
1ヶ月見放題プラン
通常料金3,080円が
初回限定
980円
お申込はこちら▶
リハビリテーションを『かたち』にする会社 gene
seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 リハノメ 検索

県北豪雨災害について

この度は、新潟県内外において記録的な豪雨による災害が発生致しました。被害に遭われました皆さまに謹んでお見舞申し上げます。

災害発生後、新潟県三士会合同災害対策本部を当士会の事務局に設置し、各士会会員やそのご家族、またご勤務先やお住まいの被害状況を確認させて頂きました。８月16日現在における当士会会員の被害状況は、床上浸水２件、床下浸水１件、車の浸水３件でした。改めまして心よりお見舞申し上げます。

現在、リハビリテーション職種として被災された皆さまに少しでもお役に立てればと考え、関係各所と連携しながら継続的な協議をしております。被害が大規模・広範囲であることから避難生活の長期化やそれに伴う身体的・精神的な問題が表在化してくるものと思われます。会員の皆さま方には、必要に応じてリハビリテーション専門職としてのご協力をお願いすることがあるかと思いますが、その際はご協力をお願いいたします。また、災害に関するご質問やご意見がございましたら、是非当士会事務局にご連絡下さい。

被災地の一日でも早い復旧を心より祈願しております。

2022年８月17日

新潟県理学療法士会
会長　佐藤　成登志

編集後記

８月上旬、新潟県県北地域を中心に線状降水帯による大雨によって床上浸水や自家用車の浸水等、大きな災害が生じました。被害に遭われた方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。この夏は新潟県に限らず全国各地で線状降水帯により被害が生じており、安定した天候で過ごすことのできない季節になっています。四季を感じる日本の良さがここ最近遠のいている気がします。地球のために私たちは何ができるのか、考えさせられる日々が続いています。（Y）

ゆきわり草　No.200

編集責任者　松　林　義　人

問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp